

## 第99回日本消化器内視鏡学会甲信越支部/2025年度第2回評議員会議事録

会場 アピオ甲府

会期 2025年11月29日（土曜）

会長 前川 伸哉 先生（山梨大学）

### 出席者

山梨県：浅川幸子、榎本信幸、大高雅彦、小澤俊一郎、門倉信、久野徹、黒澤明彦、進藤浩子、高橋英、土屋淳紀、深澤光晴、前川伸哉、三浦美香、山口達也、吉田貴史

長野県：五十嵐亨、伊藤哲也、岩谷勇吾、植竹智義、大瀬良省三、岡村卓磨、小口貴也、小山恒男、岸秀幸、北原桂、倉石康弘、小出直彦、小島英吾、三枝久能、清水俊樹、菅智明、大工原誠一、高橋亜紀子、高橋俊晴、中村晃、長屋匡信、中山佳子、野沢祐一、原悦雄、比佐岳史、平山敦大、藤沢亨、堀内朗、前川智、宮林秀晴、武川建二、望月太郎

新潟県：上村博輝、川田雄三、河久順志、小林正明、佐藤祐一、塩路和彦、杉村一仁、関慶一、高綱将史、高橋一也、竹内学、橋本哲、林和直、原田学、水野研一、影向一美、横山純二

委任状提出者：（長野県）池野龍雄、友利彰寿、長谷部修、古屋直行、（新潟県）荒生祥尚、圓谷朗雄、上村顕也、合志聰、佐野知江、中村厚夫、夏井正明、吉澤和哉

### 議事

#### I. 議事録の確認

- 2025年度第1回評議員会議事録 資料1

#### II. 事業報告

- 2025年度上半期事業報告
- 2025年度下半期事業報告

#### III. 確認事項

- 2025年度下半期事業予定
- 2026年度事業予定

#### IV. 審議事項

- 2027年度事業予定
- 2026年度甲信越支部予算 資料2

#### V. 報告事項

- 学術評議員・支部評議員に関わる変更等
- 支部評議員出席状況
- 支部長会議報告
- 2025年度専門医制度支部合同委員会
- 優秀演題に対する表彰について

#### VI. その他

- ENDOSCOPIC FORUMについて 資料4
- 甲信越支部女性内視鏡医の会

## I. 議事録の確認

### 1. 2025 年度第 1 回評議員会議事録

## II. 事業報告

### 1. 2025 年度上半期事業報告

#### 1) 第 98 回支部例会

会長：深澤光晴先生（JCHO 山梨病院）

会期：2025 年 5 月 17 日（土）～18 日（日）

会場：アピオ甲府

### 2. 2025 年度下半期事業報告

#### 1) 第 99 回支部例会（消化器病と合同）

会長：前川伸哉先生（山梨大学第一内科）

会期：2025 年 11 月 29 日（土）

会場：アピオ甲府

## III. 確認事項

### 1. 2025 年度下半期事業予定

#### 1) 第 37 回甲信越支部セミナー

会長：竹内 学 先生（長岡赤十字病院）

会期：2026 年 2 月 4 日（水）～2 月 18 日（水）

会場：Web 開催

### 2. 2026 年度事業予定

#### 1) 2026 年度支部例会 担当 新潟県

##### i. 第 100 回支部例会

会長：会長：佐藤祐一 先生（新潟医療センター）

会期：2026 年 4 月 25 日（土）～26 日（日）

会場：朱鷺メッセ

##### ii. 第 101 回支部例会（消化器病と合同）

会長：小林正明（県立がんセンター新潟病院）

会期：2026 年 10 月 24 日（土）

会場：朱鷺メッセ

#### 2) 第 38 回甲信越支部セミナー 担当 長野県

会長：堀内 朗 先生（昭和伊南総合病院）

会期：2027 年 1 月

会場：Web 開催

## IV. 審議事項

### 1. 2027 年度事業予定

#### 1) 2027 年度支部例会 担当 長野県

##### i. 第 102 回支部例会

会長：藤澤 亨 先生（長野赤十字病院）

会期：2027 年 6 月 5 日（土）～6 日（日）

会場：

##### ii. 第 103 回支部例会（消化器病と合同）

会長：比佐岳史 先生（佐久医療センター）

会期：2027年 月 日（土）～ 日（日）

会場：

2) 第39回甲信越支部セミナー 担当 山梨県

会長： 先生（ 病院）

会期：2028年1月

会場：Web 開催

2. 2026年度甲信越支部予算

## V. 報告事項

1. 学術評議員・支部評議員に関わる変更等

支部評議員 転入、転出 なし

2. 支部評議員出席状況

辞任

岡田 俊一 先生（おかだ内科クリニック）

本田 勇二 先生（国保富士吉田市立病院 外科）

宮田 佳典 先生（佐久総合病院佐久医療センター 腫瘍内科）

藤森 芳史先生（藤森病院 内科）

4回以上連続欠席の評議員には、継続意志の確認中

3. 支部長会議報告（11月13日）

1. 評議員が支部間を異動する場合の通知について

以前は、評議員が転勤等により支部をまたいで異動する場合は、異動先が決まり次第、所属支部及び本学会事務局に報告し、旧所属支部および新所属支部並びに本部事務局で共有することとなっていたが、新会員管理システムでは、評議員が支部を異動する場合は、異動先が決まり次第、本学会会員管理システムのマイページにて個人情報の変更を行うのみで、異動前と異動後の支部事務局、および本学会事務局宛てに異動情報が自動メールで通知される機能が備わったことが改めて報告された。

2. 支部例会のコンベンション会社

各支部例会の運営については、各支部例会で利用した直近3年程度のコンベンション会社名と費用等を確認し、情報共有する。本部で利用したコンベンション会社名についても併せて共有し、幹事会での議論や相見積りに利用して頂く。必ずしも、当該地域の業者で運営する必要はなく、広く全国の業者も候補に挙げて検討すべきである。

3. 準会員の設定、課税区分の明確化

支部における企画費用区分について 2026 年度からは、どの支部も準会員の価格設定を設け、下記、課税・不課税区分を明確化した4パターンで対応する方向で調整頂くこととする。

① 会員（不課税）

② 準会員（不課税）

③ 非会員（医師・課税）

④ 非準会員（準会員になっていないメディカルスタッフ等・課税）

4. 2025年度 専門医制度支部合同委員会 審査結果報告 （内視鏡学会ホームページにも掲示）

- 1) 新規専門医 26 名（長野 11 名、新潟 11 名、山梨 4 名）
- 2) 新規指導医 8 名（長野 2 名、新潟 4 名、山梨 2 名）
- 2) 新規指導施設、新規指導連携施設 なし
- 3) 更新指導連携施設 17 施設、更新連携施設 6 施設（1 施設が更新辞退）

## 5. 優秀演題に対する表彰（表彰状と賞金 5 万円の発送をもって表彰とする）

- 1) 第 99 回支部例会の優秀演題=若手医師に対する表彰（研修医・専攻医セッションより 3 題選出）  
選出方法（研修医 1 名、専攻医 1 名、成績で 1 名、本部推薦は上位成績から 2 名）  
PL1-2 研 ESD を施行した肛門管扁平上皮癌の 2 例—範囲診断を中心に 長岡赤十字病院 消化器病内科  
中島大河 先生（159 点）  
PL2-2 専 胃癌術後難治性十二指腸胃皮膚瘻を APC+OTSC にて治癒し得た一例 山梨病院消化器内科  
武田健二郎先生（163 点）  
PL-1-3 研 胆石性胆囊炎に対する術前評価中に診断し得た  
胆囊肝管の 1 例 長野赤十字病院 消化器内科 北村真宙先生（152 点）

## VI その他

### 1. ENDOSCOPIC FORUM について（別紙 アンケート結果）

これまで繰り返し議論を重ねて、再開の方向で検討してきました。今春の評議員会では、若手医師の論文作成を教育する役割に、貴重な症例や内視鏡画像を後世に残すアーカイブとしての役割を加えて再開の方向で賛同いただきました。しかし、支部例会後、一般演題と主題演題の演者（演者 22 名＋指導医 7 名）に投稿依頼を送付しましたが、連絡があったのは 2 名のみでした。若手医師の価値観や、指導的立場の先生方の負担を考慮すると、無理に再開しても、継続は困難と考えられます。事前にアンケート形式で、評議員の意思確認を行いました（回答率 54%）。投稿数増加に否定的な意見が 50%、再開に否定的な意見が 65% であったことも踏まえて、再開は断念することに決定しました。

### 2. 甲信越支部女性内視鏡医の会（2025 年 8 月 27 日）

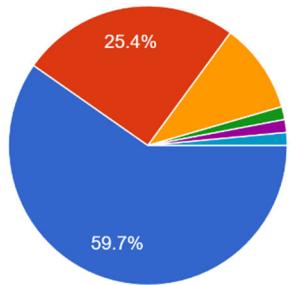
- ・合同シンポジウムの企画：消化器病とデジタル革新
- ・大腸癌死亡減を目的とした啓発ポスター
- ・学生（および研修医）に向けた Early Exposure Program (EEP)  
信州大学を会場に信州大学の学生を対象としての開催
- ・支部キャリアサポート委員は、6 名全員が次年度に任期満了で交代、新委員から委員長を選出
- ・新たな本部キャリアサポート委員の人選

## 「ENDOSCOPIC FORUM for Digestive disease」についてアンケート結果

対象：日本消化器内視鏡学会甲信越支部評議員

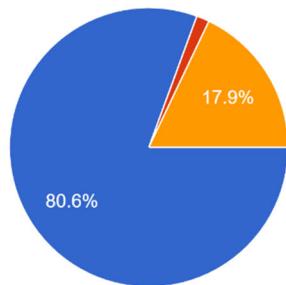
回答：67名（54%）

投稿形式について 「短報形式」、「原著形式」に...した症例や内容を投稿することは可能でしょうか。  
67件の回答



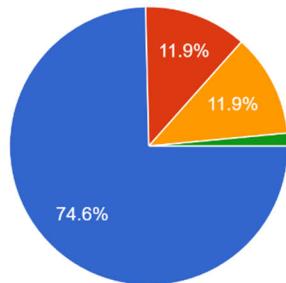
- 「抄録+キー画像1～2枚」であれば、投稿できると思う。
- 「短報形式」、「原著形式」で投稿するべきである。
- いずれの形式でも、投稿は困難である。
- 発表していない
- 上記「抄録+キー画像1～2枚」が良いですが、専門医などの資格取得のための後の英文和文の投稿が2重投稿になら...
- 2重投稿の扱いにならなければ良い形式

発刊形式について 年1回発刊で、本誌の内容は、...載し、医学中央雑誌から検索可能となる予定です。  
67件の回答



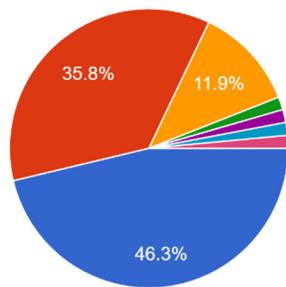
- オンラインで閲覧できれば、有用である
- 冊子の方が、有用である
- 内容が伴わなければ、発刊形式を変更しても、有用性は乏しい

経費について 支部会員からの購読料は廃止する...ル主体で行い、編集会議はオンラインで行います。  
67件の回答



- 購読料が不要であれば、再開しても問題ない
- 支部評議員からは、購読料を徴収して経費に充てた方がよい
- 支部の予算を使用して再開することは、問題である
- 本誌自体の再開は現状を鑑みると厳しいので経費については特にコメントありません。

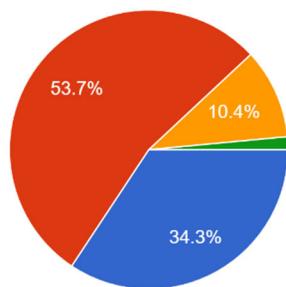
投稿数増加に向けて 研修医・専攻医セッション...支部例会の特別講演の講師にも原稿を依頼します。  
67件の回答



- 発表者に原稿依頼があれば、投稿は増加すると思う
- 学会としての業績にならないのであれば、投稿数は増加しないと思う
- 業務が忙しく、論文作成にあてる時間の余裕がないので、投稿数は増加しない
- 倫理審査や臨床研究への投稿サポート...
- 購読者が少ない本誌に、投稿数は増加...
- 雑誌としての意義を持たせたい。
- 表彰を行なっても投稿数は増加しない...

### 本誌の再開について

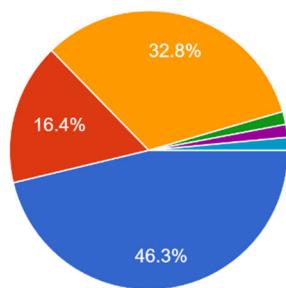
67件の回答



- 再開した方がよい
- 再開しても、継続できるかは疑問である
- 再開しない方がよい
- 他支部から転入したため再開前のことよくわからない

### 若手の指導、教育や支部活性化に向けて、他に行った方がよいことはないでしょうか

67件の回答



- DEN openの投稿費の援助
- 学会誌に採用された論文の表彰、賞金授与
- 支部例会に合わせて、ハンズオンセミナーを行う
- なし
- 同世代の交流会
- 症例検討会を行う。